

平成26年度  
家庭における青少年の携帯電話・スマートフォン等  
の利用等に関する調査報告書  
(概要版)

平成27年3月  
東京都青少年・治安対策本部

## 調査概要

### ■ 調査の目的

小・中学生及び高校生の子供に携帯電話等（スマートフォンを含めた携帯電話・PHSをいう）を持たせている保護者に対して、子供が利用する携帯電話等のフィルタリングへの加入状況や意識等を調査し、フィルタリングの重要性と必要性の啓発及び青少年健全育成条例における保護者の責務の更なる周知・徹底を図るとともに、今後の施策の参考とする。

### ■ 調査対象者

都内在住で、小学生（4～6年生をいう。以下、同じ。）、中学生及び高校生の子供に携帯電話等を持たせている保護者 1,500 名

#### 【子供の属性】

	小学校 4年生	小学校 5年生	小学校 6年生	中学校 1年生	中学校 2年生	中学校 3年生	高校 1年生	高校 2年生	高校 3年生	合計
男子	76	82	92	62	86	102	81	80	89	750
女子	69	86	95	64	80	106	67	83	100	750
合計	145	168	187	126	166	208	148	163	189	1500

### ■ 調査方法

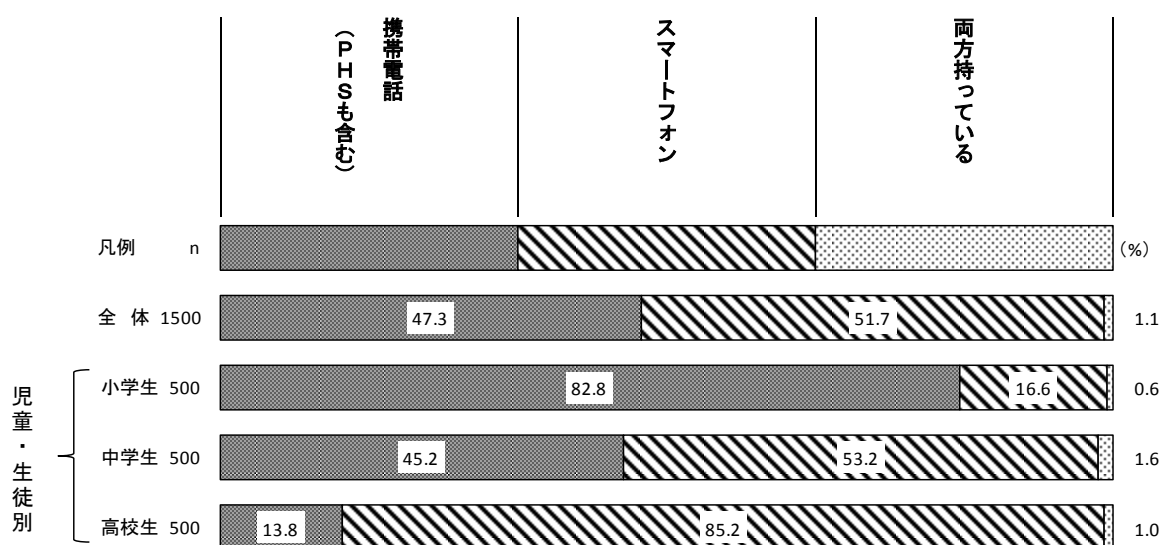
- 1 調査期間：平成 26 年 12 月 12 日から同年 12 月 17 日まで
- 2 調査方法：インターネットパネルを使用してのネット調査アンケート  
※ 調査会社提携先の登録会員に対して、Web 画面上のアンケートリサーチを実施。

# 1 携帯電話・スマートフォンの所持について

## 《携帯電話・スマートフォンのタイプ》

- 全体では、「スマートフォン」が51.7%と半数以上を占める。
- 児童・生徒別に見ると、「スマートフォン」は小学生で16.6%、中学生で53.2%、高校生で85.2%と、学年が上がるにつれ割合が大きくなっている。

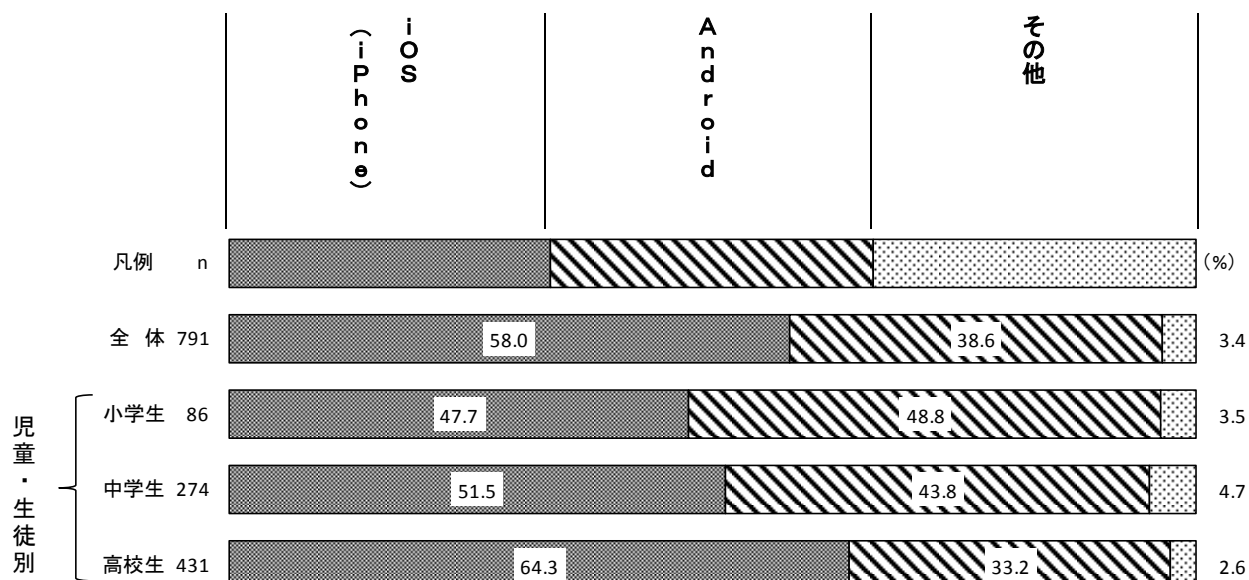
お子さんが現在利用している携帯電話・スマートフォンのタイプを教えてください。  
(1つに回答)



## 《スマートフォンの種類》

- 「iOS (iPhone)」が58.0%と半数以上を占めて多い。
- 児童・生徒別に見ると、「iOS (iPhone)」は小学生で47.7%、中学生で51.5%、高校生で64.3%と、学年が上がるにつれ割合が大きくなっている。

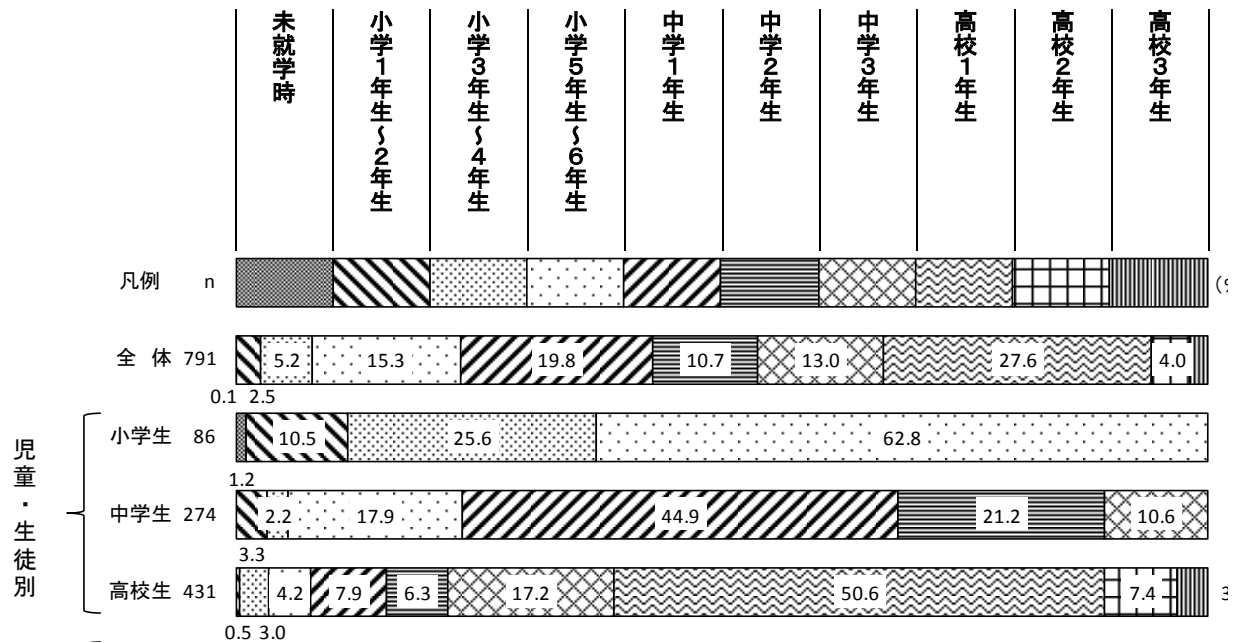
お子さんの利用しているスマートフォンの種類を教えてください。(1つに回答)



## 《スマートフォンを持たせた時期》

- 「高校1年生」が27.6%と最も多く、「中学1年生」が19.8%と続く。
- 「中学1年生」から「高校3年生」までに持たせ始めている割合は76.7%である。

お子さんにスマートフォンを持たせた時期はいつですか。(1つに回答)

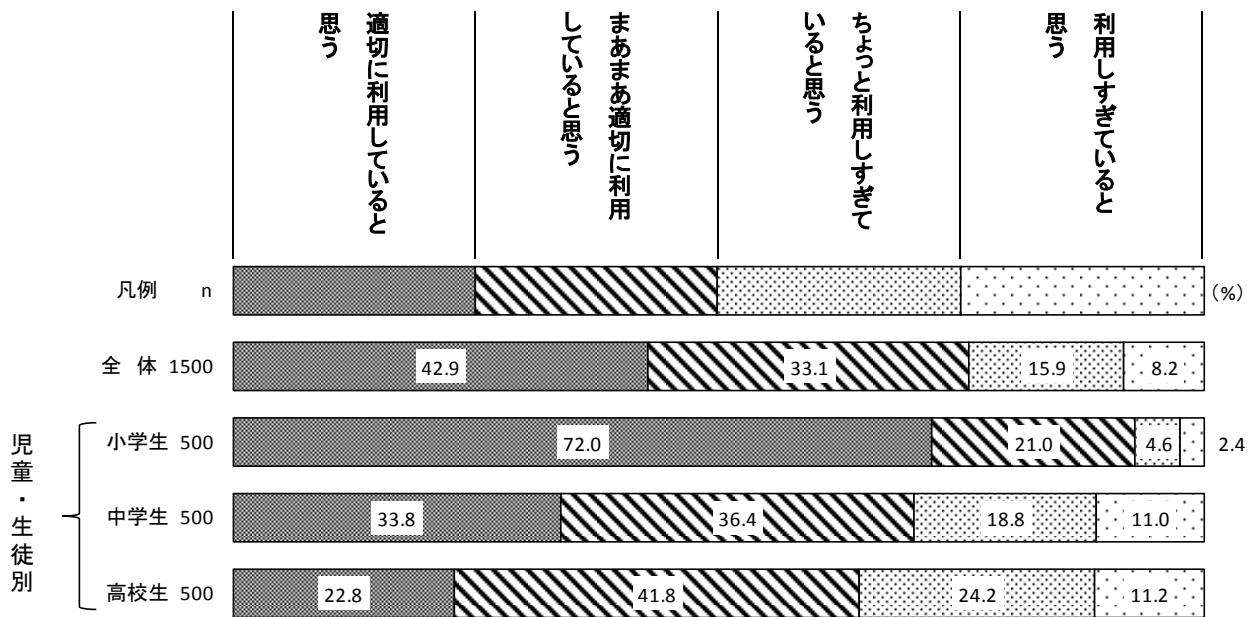


## 2 携帯電話・スマートフォンの利用状況について

### 《適切に利用していると思うか》

- 児童・生徒別で見ると、「適切に利用していると思う」は小学生で72.0%と最も多く、中学生が33.8%、高校生が22.8%と、おおむね年齢が上がるにしたがって減る傾向がみられる。

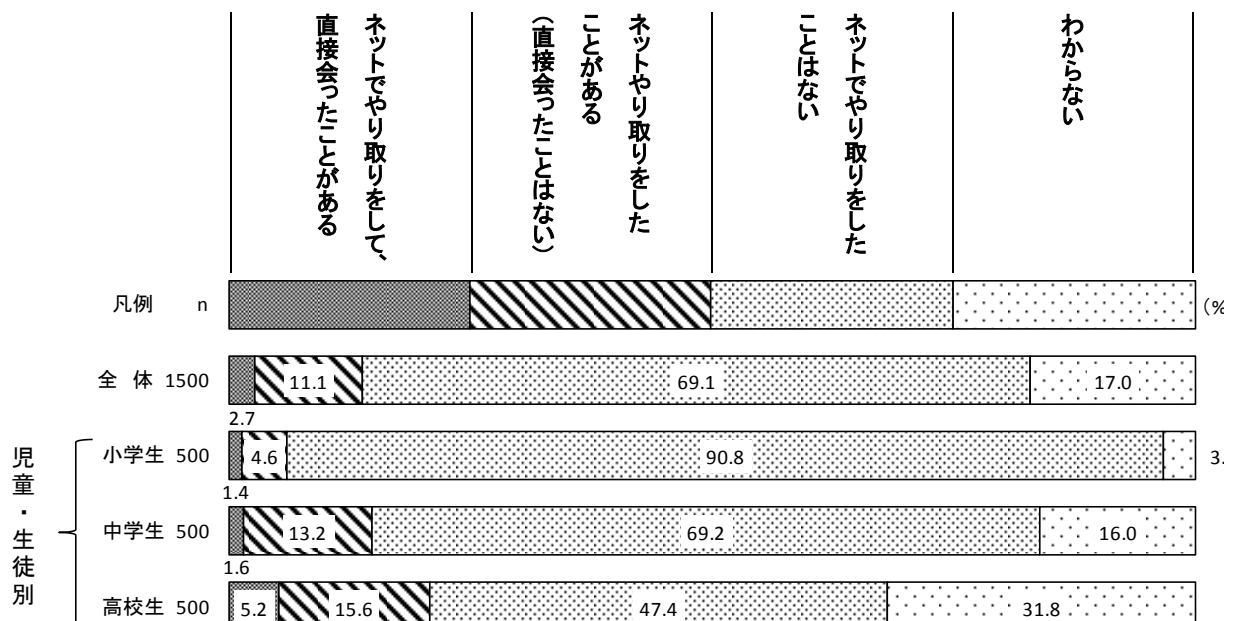
お子さんは、携帯電話・スマートフォンを適切に利用していると思いますか。(1つに回答)



### 《知らない人とのやりとり》

- 直接会ったことの有無にかかわらず《ネットでやり取りをしたことがある》という回答の合計値は、小学生が6.0%、中学生が14.8%、高校生が20.8%と、おおむね年齢が上がるにしたがって増える傾向がみられる。

お子さんは、ネットで知らない人とやりとりをしたことがあるますか。(1つに回答)

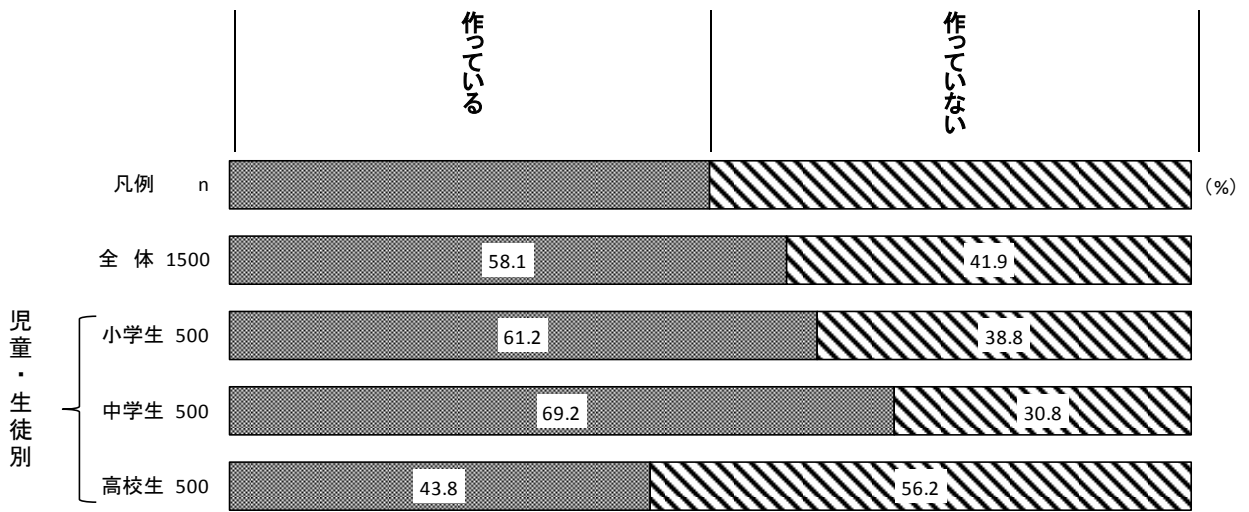


### 3 家庭におけるルール作りについて

#### 《家庭内でのルール》

- 児童・生徒別で見ると、「作っている」は中学生が69.2%と最も多くなっている。一方で、「作っていない」は高校生が56.2%と多くなっている。

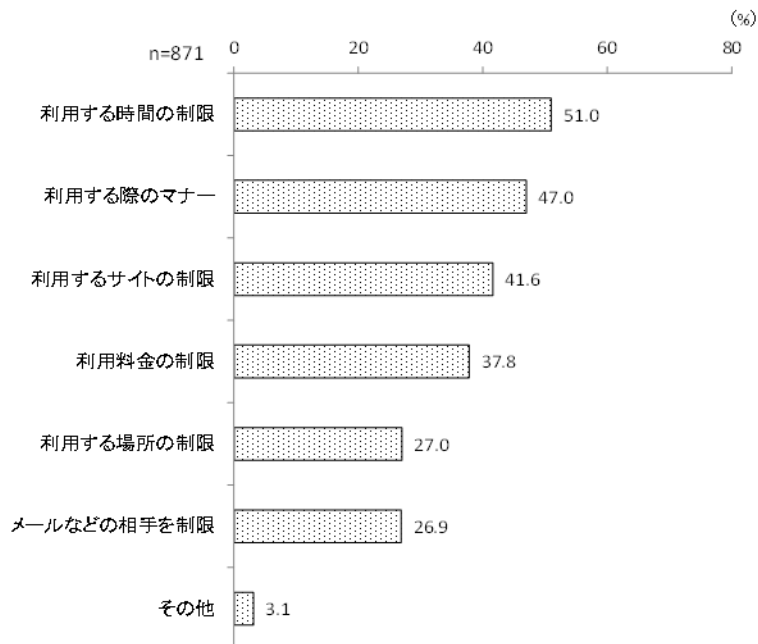
お子さんが携帯電話・スマートフォンを使うことについて、家庭内でルールを作っていますか。(1つに回答)



#### 《どのようなルールか》

- 「利用する時間の制限」が51.0%と最も多く、次いで「利用する際のマナー」が47.0%、「利用するサイトの制限」が41.6%と続く。

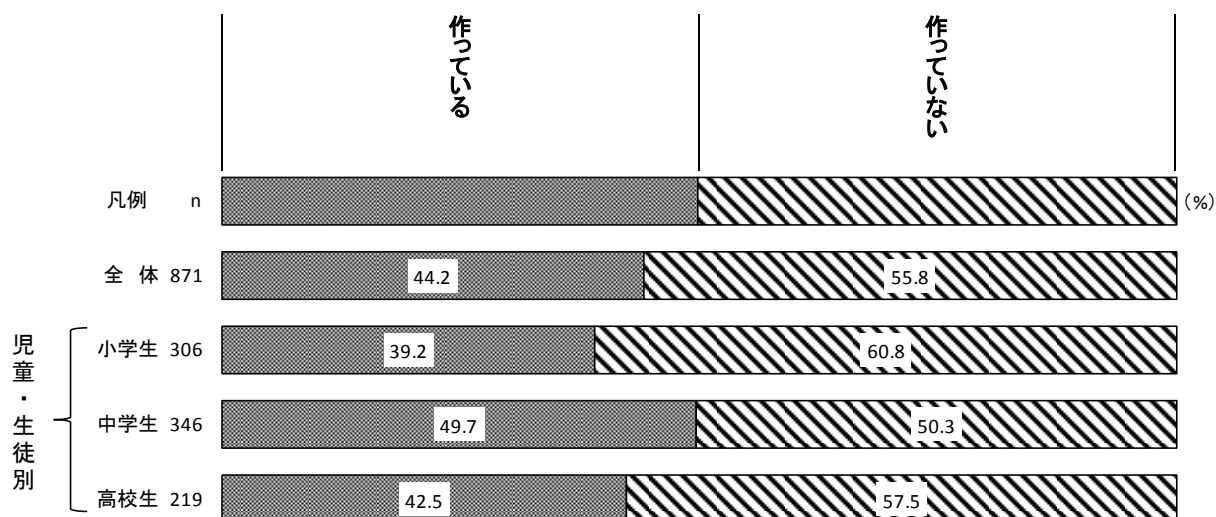
家庭内でどのようなルールを作っていますか。(いくつでも)



### 《ルールを守れなかった場合のルール》

- 児童・生徒別で見ると、「作っている」が中学生が49.7%となっており、高校生が42.5%、小学生が39.2%であるのに比べ多くなっている。

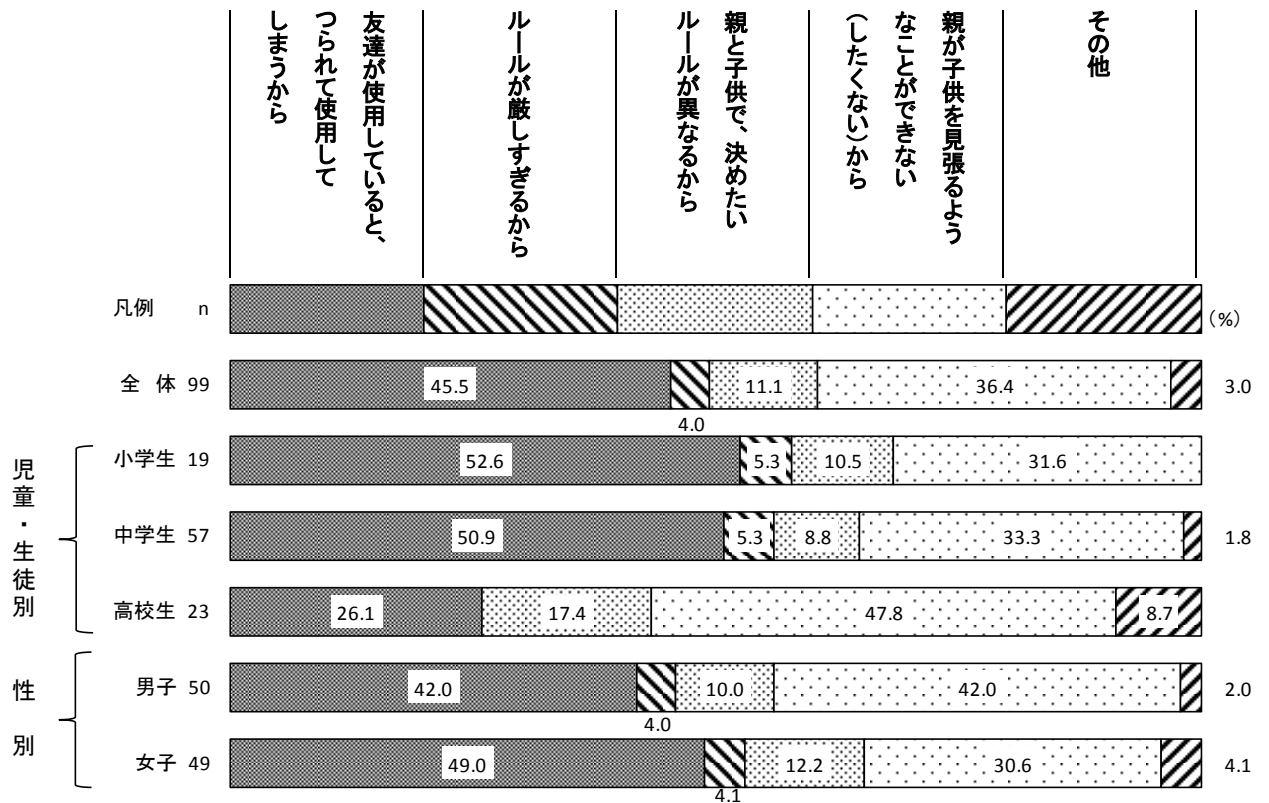
お子さんがルールを守れなかった場合のルールを作っていますか。(1つに回答)  
 (例：携帯電話の使用は、午後9時までとします。守れなかったら、3日間、携帯電話をお母さんに預けます。など)



### 《ルールが守られていない理由》

- 児童・生徒別で見ると、「友達が使用していると、つられて使用してしまうから」は、小学生が52.6%、中学生50.9%、高校生が26.1%と、おおむね年齢が上がるにしたがって減る傾向がみられる。
- 性別で見ると、「親が子供を見張るようなことができない(したくない)から」は、男子が42.0%と、女子が30.6%であるのに比べ多くなっている。

ルールが守られていない主な理由は何だと思えますか。(1つに回答)

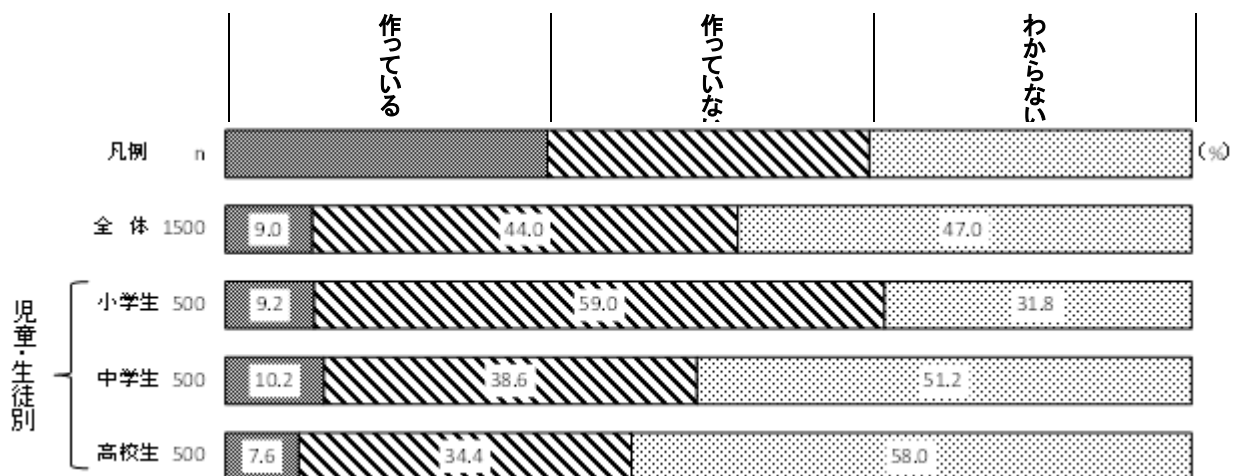


### 《友人間での自主ルール》

■ 児童・生徒別でみると、「作っていない」は小学生が 59.0%、中学生が 38.6%、高校生が 34.4%と、おおむね年齢が上がるにしたがって減る傾向がみられる。

お子さん自身が、友人間で自主ルールを作っていますか。(1つに回答)

(例：午後9時以降は、メールは送らない。悪口は書かない。試験3日前から試験終了までは、メールを送らない。など)





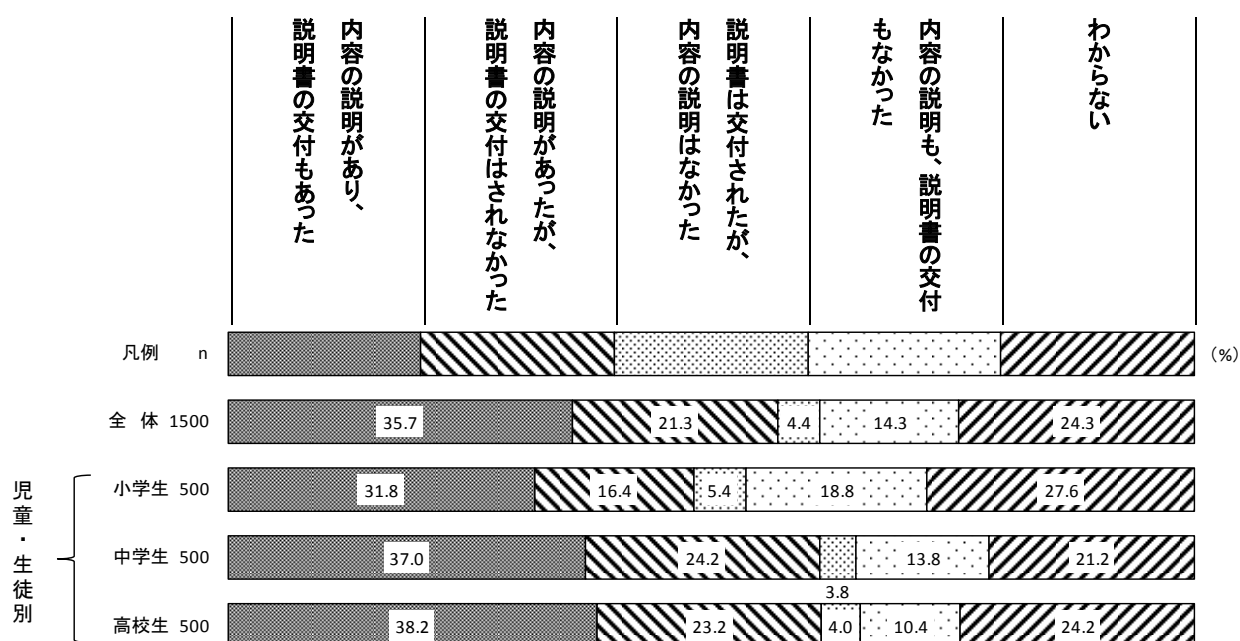
## 4 フィルタリングサービスについて

### 《フィルタリングサービスに関する説明及び説明書の交付》

- 「内容の説明があり、説明書の交付もあった」が35.7%と最も多くなっており、次いで「わからない」が24.3%、「内容の説明があつたが、説明書の交付はされなかった」が21.3%となっている。

お子さんが利用している携帯電話・スマートフォンの契約・購入の際、お店からフィルタリングサービスに関する説明及び説明書の交付を受けましたか。(1つに回答)

※ 両方お持ちの方は、スマートフォンの使用について回答してください。

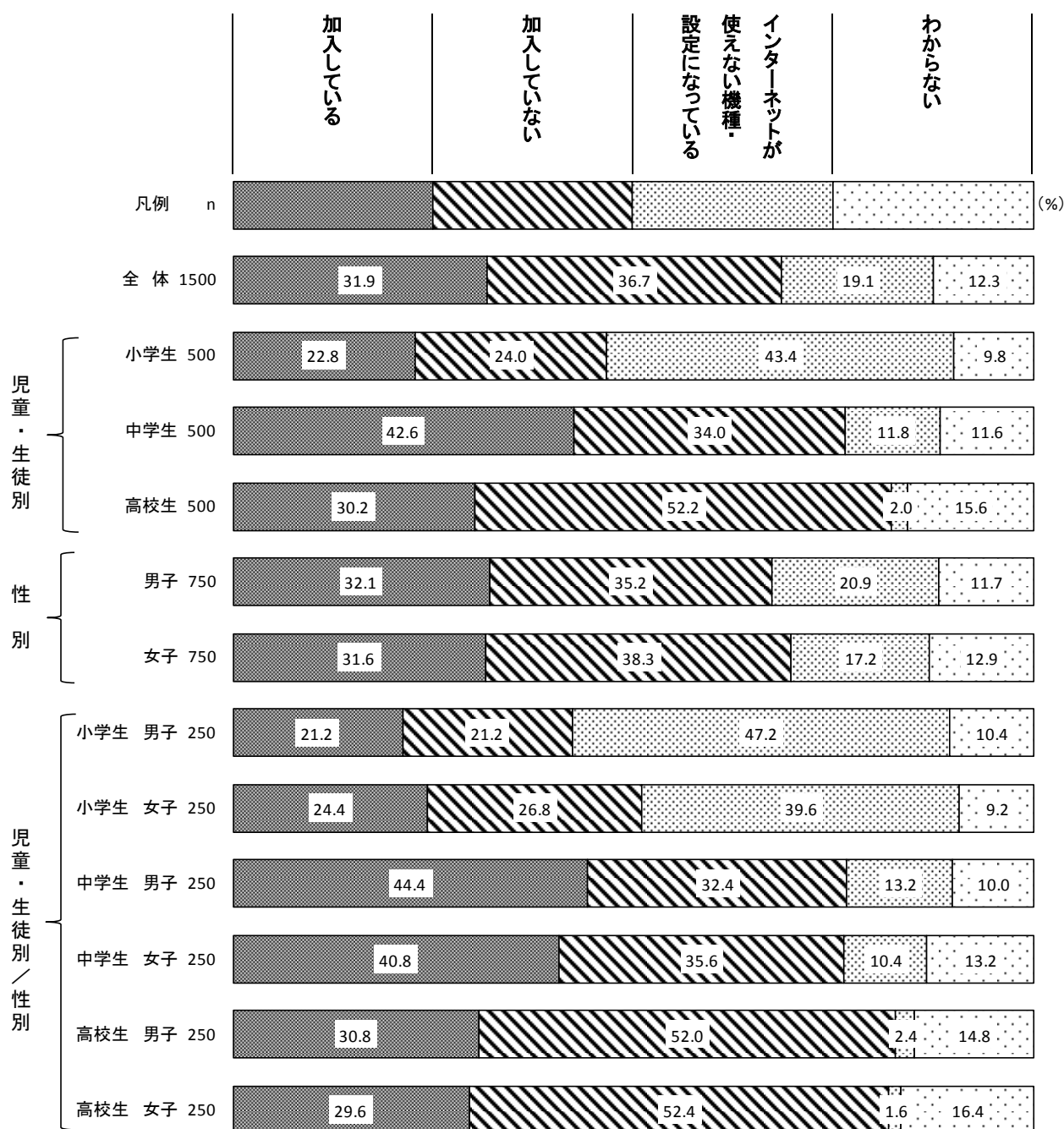


### 《フィルタリングサービスへの加入》

- 児童・生徒別にみると、「インターネットが使えない機種・設定になっている」は小学生が43.4%、中学生11.8%、高校生2.0%とおおむね年齢が上がるにしたがって減る傾向がみられる。
- 児童・生徒別/性別にみると、小学生男子は「インターネットが使えない機種・設定になっている」が47.2%と最も多く、中学生男子は「加入している」が44.4%と最も多くなっている。

お子さんが利用している携帯電話・スマートフォンは、現在フィルタリングサービスに加入していますか。(1つに回答)

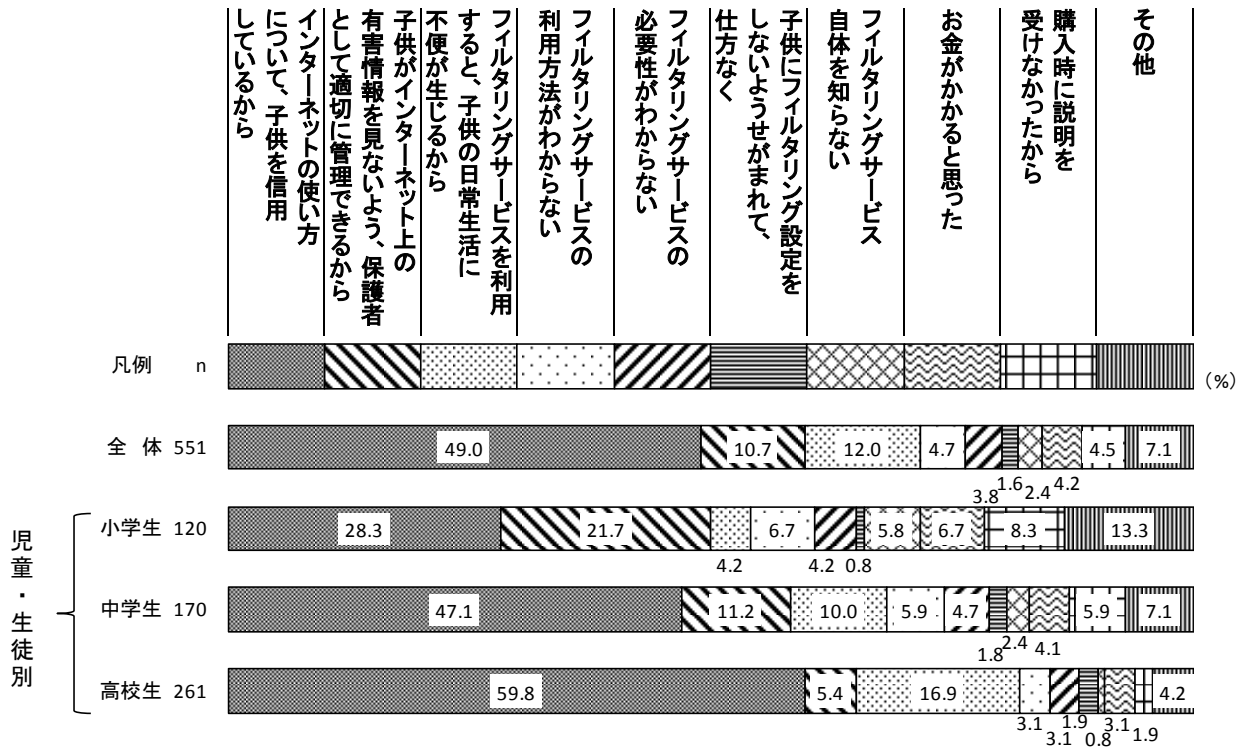
※ 両方お持ちの方は、スマートフォンの使用について回答してください。



《フィルタリングサービスに加入していない理由》

- 「インターネットの使い方について、子供を信用しているから」が49.0%と最も多い。
- 児童・生徒別にみると、「インターネットの使い方について子供を信用しているから」は小学生が28.3%、中学生47.1%、高校生59.8%とおおむね年齢が上がるにしたがって増える傾向がみられる。

フィルタリングサービスに加入していない主な理由は何ですか。(1つに回答)



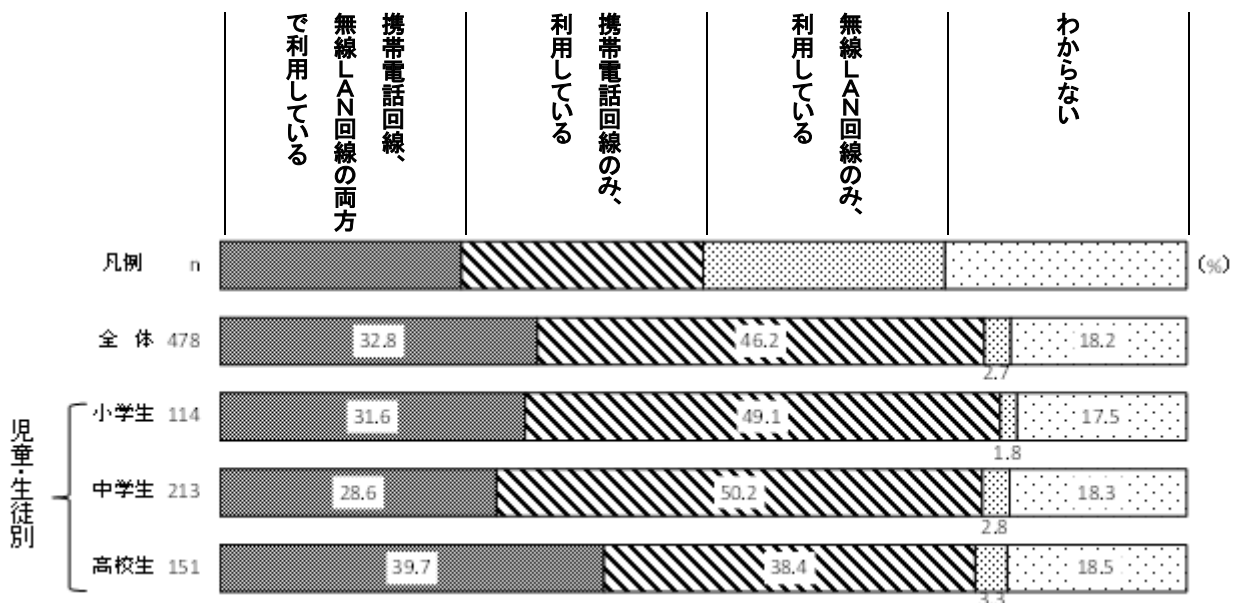
《携帯電話回線と無線LAN回線の両方のフィルタリングサービス利用》

- 「携帯電話回線のみ、利用している」が46.2%と最も多くなっている。
- 児童・生徒別にみると、「携帯電話回線、無線LAN回線の両方で利用している」は小学生が31.6%、中学生が28.6%に対し、高校生が39.7%と多くなっている。

携帯電話回線と無線LAN回線の両方にフィルタリングサービスを利用していますか。

(1つに回答)

※ 携帯電話・スマートフォンを両方お持ちの場合は、スマートフォンについてお答えください。

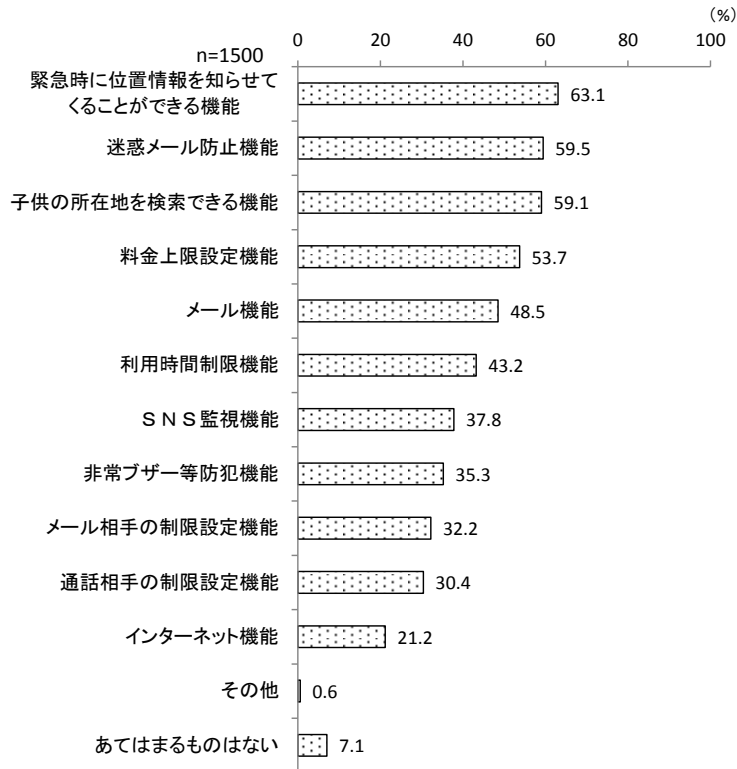


## 5 保護者の携帯電話・スマートフォン等に関する意識について

### 《安心できる機能》

- 「緊急時に位置情報を知らせてくれることができる機能」が63.1%と最も多い。

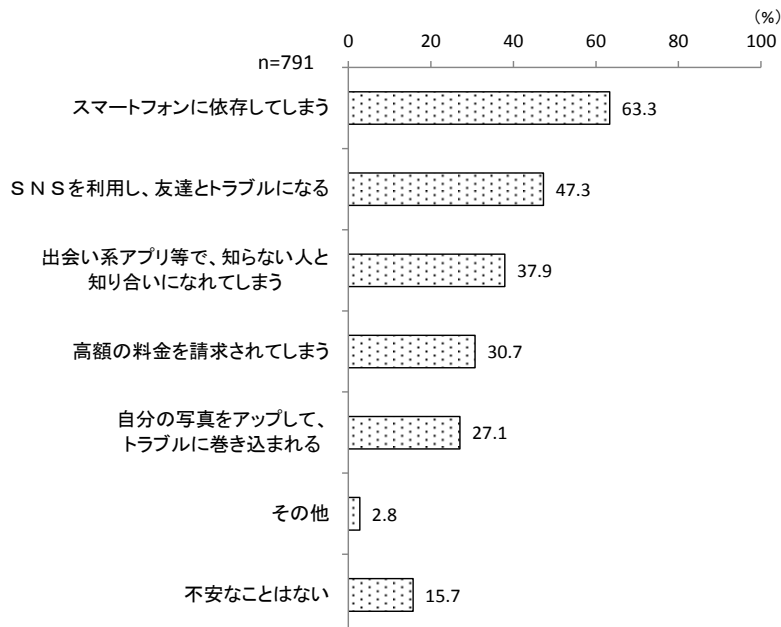
お子さんが適切に携帯電話・スマートフォンを利用するために、どのような機能があると安心できますか。(いくつでも)



### 《スマートフォンを持たせるに当たり不安なこと》

- スマートフォンを持たせるに当たり不安なことについては、「スマートフォンに依存してしまう」が63.3%と最も多い。

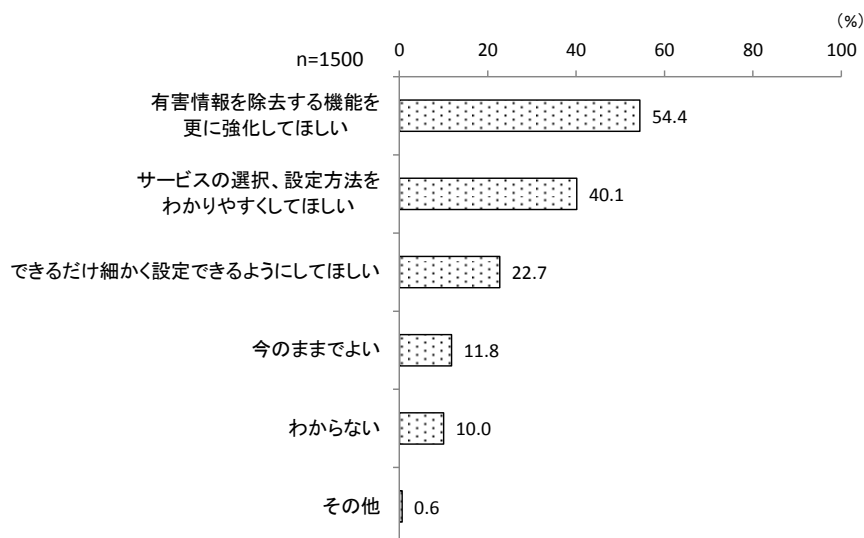
スマートフォンを持たせるに当たり不安なことはありますか。(いくつでも)



## 《フィルタリングの機能向上》

- フィルタリングサービスの機能向上については、「有害情報を除去する機能を更に強化してほしい」が54.4%と最も多くなっており、次いで「サービスの選択、設定方法をわかりやすくしてほしい」が40.1%となっている。

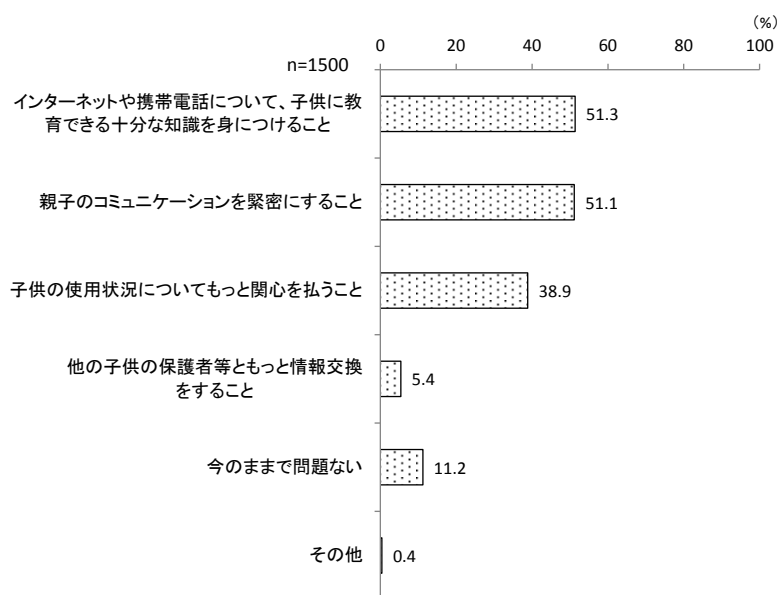
フィルタリングサービスについて、どのような機能が向上すると良いと思いますか。(2つまで)



## 《保護者として必要な課題》

- 「インターネットや携帯電話について、子供に教育できる十分な知識を身につけること」が51.3%と最も多くなっており、次いで「親子のコミュニケーションを緊密にすること」が51.1%となっている。

携帯電話・スマートフォン、インターネットを、お子さんが正しく使用するために、保護者として必要な課題は何だと思えますか。(2つまで)



## 《東京都や学校で必要な対策》

- 「学校の授業等で、ネットの危険性について取り扱う」が42.5%と最も多く、次いで「ネットに潜む危険性に関する、より一層の広報」が26.6%、「インターネットの危険性について啓発する講演会・イベントの開催」が25.3%と続く。

携帯電話・スマートフォン、インターネットを、お子さんが正しく使用するために、東京都や学校で必要な対策は何だと思えますか。(2つまで)

